

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その7）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【(株)インフォメーションネットワーク郡上八幡(ING)】

ケーブルテレビ ING は平成元年(1989年)に、八幡町の北町・南町を中心に都市型ケーブルテレビの先駆けとして市内の電気工事業者、家電販売店が中心となって設立されました。

地域に根差したケーブルテレビとして地域情報の発信、地域イベントや地元企業の支援を積極的に行っ

ています。郡上八幡は昭和38年(1963年)にケーブルテレビによる自主制作番組の放送が世界で初めて行われた地域です。INGではそういった先人たちの意気込みや想いを大切にしながら各種事業を行っています。



【HP】 <https://www.gujocity.net/>

SDGs	取組中						今後の目標	
------	-----	--	--	--	--	--	-------	--

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・ローカルテレビがどのように作られているのか、また何を意識して作っているのかを学んだ。僕は普段ケーブルテレビを見ることはないが、今回の講義でどのようなことを取り上げているのかを知った。インターネットを使う人が増え、テレビの視聴が減ってきている現状で、若者も楽しめるような内容を提供するのは難しいことだが、それでも地域のために発信し続けているのはすごいと思った。

・INGさんのお話の中で、「放送するニュースを選ぶときそれが分かりやすいかどうかと同じくらい、出る人の笑顔が多いかが判断材料として大切だ」という言葉を聞いて、最近、全国区のニュース番組では必要な暗いニュースもあるけど、どうでもいいような暗いニュースも取り上げられていて、いたずらに見る人を暗くさせていると感じる一方、地方の番組が明るさを伝えようとしていることから、やはり地元根付いた企業こそが人々を幸せにするのだと思いました。

・ケーブルテレビならではのお話を聞いた。1969年に世界で初めてケーブルテレビで地域情報を

放送した。ケーブルテレビを通して笑顔になる番組を作成している。「いちくんさんぽ」という番組は、はじめてのおつかいのように子供が郡上のまちを散歩している内容であり地域の人に好評であった。感謝が早いのが楽しいとおっしゃっており、SDGs II 番の「住み続けられるまちづくり」で、地域を元気にすることや人口減少の問題に取り組まれていた。

・ING がテレビだけでなくネットワーク回線についても取り組んでいることは初めて知りました。世界で初めてケーブルテレビを放送したと聞いた時はすごく驚きました。僕は郡上に住んでいるけどあまりケーブルテレビを見ないので、進んで見てみたいと思いました。また、郡上踊りの生配信をしていることも知ったので、コロナで行きにくい時に見てみたいと思いました。

・社員数は 8 人と小規模。しかし、社員さん一人ひとりが自由に企画を考える、取材するといった試みができたり、地域住民との関わりが作りやすかったりといった、小規模だからこそそのメリットがあることが分かった。いい意味で「ゆるい」。人と街を繋げる工夫にあたたかみを感じた。また、SDGs の目標のひとつである「住み続けられるまちづくりを」の達成のため努力しているが、なかなか難しいとのことだった。「人口が多くないと感謝の気持ちすら頂けない」「おだ話をどれだけできるかというゆとりを生み出すことが大切だと思う」といった言葉が心に残った。

・私は、講座を受けるまで、ケーブルテレビはもう需要がないものだと思っていたが、ING さんは地域の人たちと積極的に関わることで、地域からの支持を得ていらっしゃるというのがすごいと思った。また、ケーブルテレビとして地域情報を発信するという世界で一番初めになさったということを知らなかったのととても驚いた。ING さんは SDGs の「住み続けられるまちづくりを」を特に意識して、地域の方がここに住み続けたいと思えるような活動をしていらっしゃる。しかし、仕事の内容としても、環境に関わる SDGs に対して実際に取り組むことはとても難しいということだった。私は、どの企業も全ての SDGs に対して取り組むべきだとされていると考えていた。しかし、今回の講座を聞いて、各々ができることを適材適所でしていくことが大切なのだとわかった。

・インターネット回線の提供等を行う一方で地域情報を中心とした番組作りが行われていました。その番組は地域の人を映したものが多く、どうしたら地域の方々に見てもらえるか工夫された内容が放送されていることが分かりました。私たちも研究結果を発表する時や、地域に向けて何か活動を行う時、いかに興味を持ってもらえるか ING さんのような工夫ができたらなと思いました。また、ING さんは地域に根ざした活動を通して地域の方々に興味をもってもらい、地域を元気にする事へ繋げてみえました。まさにこれからの私たちの活動に繋がっていくことであると思いました。